

平成 24 年 度

新見市男女共同参画基本計画

新にいみ男女共同参画プラン 実施計画・実績書

総務部企画政策課

基本目標Ⅰ あらゆる分野への男女共同参画の促進

重点目標-1 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進

(1) 行政における女性の参画促進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
<p>審議会等への、女性委員の登用を積極的に進めるため平成27年度までに、女性委員の平均登用率の目標値を30%に定める。また、職員の任用、管理監督者への登用および職域拡大を図り、能力開発のための研修機会の充実を図る。</p>	<p>○女性委員がいない審議会の解消 各種団体・組織の長がその職に就いているケースが多く、その長が男性である場合が多いため、女性の委員がいない審議会がある。また、専門知識を有する者等女性の人材不足の場合もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会等における女性委員の比率 29.1% (平成25年4月1日現在) (前回(平成24年度4月1日時点)は28.1%) 	関係各課
	<p>○能力ある職員の登用を積極的に行うとともに、女性の活躍の場の確保に努めた。また、女性職員の能力開発のため、研修へ積極的に派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員状況(平成25年4月1日現在) 市職員515人・・・うち女性職員168人 女性比率32.6% (平成24年4月1日現在) 市職員519人・・・うち女性職員168人 女性比率32.3% ・管理職状況(平成25年4月1日現在) 管理職133人・・・うち女性管理職33人 女性比率24.8% (平成24年4月1日現在) 管理職150人・・・うち女性管理職41人 女性比率27.3% 	総務課

(2) 企業、地域団体等における女性の参画促進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
<p>男女共同参画社会に関する情報提供を行い、方針決定の場に男女共同参画の考えが浸透するよう、また、女性の能力発揮のための積極的取り組みへの働きかけを行う。</p>	<p>○スポーツ少年団活動における、女性指導者の割合(平成23年度は14.7%、平成24年度は16.2%)や、女性事務局の割合(平成23年度は47.3%、平成24年度は55.3%)は増加傾向にあり、女性の積極的な発言や行動も増えてきた。</p> <p>○体育指導委員会ではニュースポーツの指導、ニュースポーツの紹介ビデオ撮影などに、女性が積極的に意見を述べるとともに実践に加わり成果を挙げた。</p>	生涯学習課
	<p>○市政懇談会「市長とフリートーク」を市内5か所で開催した。女性の参加もあり、市政について意見や提案を発表する機会を持つことができた。</p>	企画政策課

重点目標-2 家庭生活と地域社会への男女共同参画の促進

(1) 家庭生活における男女共同参画の促進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
男女が共に職業生活と家庭生活との両立ができるようにする、という観点に立った広報活動を推進するとともに学習機会を提供する。	<p>○幼児クラブ交流事業等において、親子で参加できるイベント等を計画し、実施に際しては父親の協力、参加を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バルーンであそぼ!!」：約200人参加 (バルーンアートを通して交流を図った。) ・子育て広場交流イベント：約350人参加 (人気キャラクター「ノンタン」のミュージカルや手遊びを体験した。) 	こども課
	<p>○公民館事業において男性料理教室・男女共同参画社会講座・グラウンドゴルフ大会等を開催し、男女が共に学び活動できる体制の実現、男女共同参画の意識づくりを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性料理教室開催数：7公民館で12回 ・グラウンドゴルフ大会開催数：8公民館で14回 ・男女共同参画社会講座開催数：1公民館で1回 	生涯学習課

(2) 地域社会における男女共同参画の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
ボランティア活動やNPO活動など社会活動、公民館活動など地域活動へ男女がともに参画できるよう情報提供や、参加を推進する。また、賢い消費者の育成や環境保全活動への参画推進、相談体制の充実を図る。	<p>○スポーツ少年団や地域の青少年育成団体等の会議等で男女共同参画の意義や考え方を広報するとともに、子どもの料理教室などの行事を開催し、親子で男女共同参画社会に向けての意識づくりを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども料理教室開催数：7公民館で13回 <p>○男女が協力して地域の美化活動へ取り組む体制づくりを図った。</p>	生涯学習課

重点目標-3 国際化社会に対応する男女共同参画の推進

(1) 国際交流・国際協力活動の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
女性の人権に対する制度等の情報提供や、国際交流事業への女性の参画促進、女性職員・教職員の国際交流・国際協力活動を促進する。	○中国信陽市瀬河区(4月26日から5月2日まで)の7日間、市民2名、経済等団体5名、新見市3名の10名)や、カナダシドニー(9月28日から10月5日までの8日間、市内中学生10名(内女性8名)、引率3名(内女性職員1名)の13名)を派遣し交流した。	総務課

(2) 異なる文化を認め、多文化共生をめざす意識づくり

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
異文化理解のための講座・交流機会の充実や国際理解教育を推進する。	○公民館事業で英会話教室、中国文化講座等、異文化への理解を深めるための行事を開催した。 ・国際交流関係講座開催数：3公民館で3回	生涯学習課
	○新見市国際交流協会による国際交流ふれあいデイ等を開催した。 ・国際交流ふれあいデイ参加者数：100人 (外国人6カ国63人)	総務課
	○中国語講座、韓国語講座、英語講座を各6回無料で開催し、受講者が異文化交流を深めた ・受講者数：各講座15人程度	
	○小学校全学年でALTを活用した年間35時間の「外国語活動」、中学校全学年で週1時間の「英語表現」の授業を実施した。	学校教育課
	○こども園においても、ALTを月1回程度派遣して国際理解教育を推進した。	
	○新見市小中一環英語教育の研究が、各中学校区で実践され、国際理解と英語力向上を図った。	
	○ALTと各地域団体等の交流を実施した。	市民課
○三月以上在留許可のある外国人住民226人に在留管理や特別永住者制度の説明書類を発送した。		

基本目標Ⅱ 男女共同参画社会に向けての意識づくり

重点目標-1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し

(1) さまざまな機会と方法による啓発活動の充実

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
固定的な性別役割分担意識や男性優位の考え方を払拭し、男女共同参画の視点に基づいて職場・家庭・地域における慣行を見直すようあらゆる機会と方法を活用して啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画出前講座の開催 ・平成24年5月11日開催 約60人参加 ○男女共同参画社会づくりフォーラム開催 ・平成25年1月12日開催 約150人参加 ○市報、ホームページ、ケーブルテレビ等による広報・啓発活動 ○男女共同参画情報紙「りぼん」発行 ・平成24年8月、平成25年2月 年2回発行 ○男女共同参画プラザでは、各種情報を収集し閲覧や、図書、ビデオの貸出を行っている。 ・図書 273冊 ビデオ・DVD 60本 	企画政策課

(2) 市職員・教職員に対する研修の充実

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
市職員等への研修や啓発、情報提供や、組織内の制度や慣習を男女共同参画の視点で見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ○講師を招き、係長級以上の職員を対象に市自前で人事評価研修を実施した。 ○来客、会議等のお茶くみ、退庁時の清掃等についても手の空いたものが行い、ペットボトル等の利用も増加し、女性のみが行うことはなくなっている。職場内の慣行の見直しや性別役割分担意識もかなり改善してきている。 	総務課 関係各課

重点目標-2 男女共同参画を推進するための教育・学習の充実

(1) 学校等における男女平等教育の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
学校教育を通じて、個人の尊厳、男女平等に関する教育の推進と学習機会を提供する。	<p>○県教育委員会主催の「人権教育研修会」に参加し、研修報告等を各校で行い、研修内容の周知を図った。</p> <p>○新見市教育研修所主催の「人権教育研修会」を実施し、市内各幼・小・中学校から多くの教職員が参加した。</p> <p>○人権教育担当者および管理職等で、各校の人権教育の見直しを行い、人権教育推進の基盤づくりを実施した。</p> <p>○小・中学校では、12月の「人権週間」で、人権尊重やいじめ撲滅の標語等を作成することで、児童生徒及び教職員の人権意識の高揚を図る取組を実施した。</p>	学校教育課

(2) 社会における男女平等を推進するための学習の充実

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
生涯を通じて、個人の尊厳、男女平等の意識を高め、多様化するニーズに対応した学習機会の充実をはかる。	<p>○公民館での人権講座を開催した。 ・開催数：18公民館で18回</p> <p>○産婦・新生児・乳児については、ほぼ100%保健師が家庭訪問を実施し様々な相談にあたった。</p> <p>○乳幼児健診を月5回(延べ60回/年)実施した。(個別ブラッシング指導、栄養指導、生活指導、臨床心理士による相談)</p> <p>○BABYすくーる(5~8か月児)を年4回実施した。(小児科医師からの講話、離乳食の集団指導及び試食、育児相談)</p> <p>○あひるクラス(育児支援教室)を月1回実施した。(母と子、母親同士、子ども同士の交流、保健師・臨床心理士による個別相談)</p> <p>○「ステップアップ講座」開催 30人参加</p> <p>○男女共同参画プラザに相談員を配置し、さまざまな相談に対応している。また、専用電話も設置している。</p>	生涯学習課 健康づくり課 企画政策課

重点目標-3 新見市男女共同参画プラザの充実

(1) 男女共同参画を推進する拠点施設としての環境の充実

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
多様な媒体による広報・啓発・情報提供や市民団体への支援体制の整備を行う。また、相談業務に関する研修会等に相談員を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> ○市報、ホームページ、ケーブルテレビでの広報や啓発を実施した。 ○男女共同参画プラザを活用し、市民団体の交流機会および活動場の提供を行った。 ○相談員向けの各種研修に男女共同参画プラザの相談員を派遣した。 	企画政策課

重点目標-4 男女共同参画を推進する市民団体との協働

(1) 男女共同参画のための市民活動への支援

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
男女共同参画を推進する市民団体の育成や支援を行う。	○市民団体が事業等を行う際、各種情報提供や助言等を行った。	企画政策課

(2) 市と市民・事業者等との連携

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
市民団体との協働による男女共同参画推進事業や意見交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○にいみフォーラムと協働で事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画出前講座の開催 平成24年5月11日開催 約60人参加 ・男女共同参画社会づくりフォーラム開催 平成25年1月12日開催 約150人参加 	企画政策課

基本目標Ⅲ 男女共同参画のための働く環境づくり

重点目標-1 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

(1) 労働に関する法律・制度の周知

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
労働基準法、男女雇用機会均等法など労働に関する法律や制度などを周知徹底する。	○厚生労働省が定める男女雇用機会均等月間において、パンフレットの配布等により、周知および情報提供を図った。	商工観光課

(2) 女性の能力発揮への支援

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
資格取得、技術取得の機会を充実し、女性の能力活用について啓発を行う。	○チラシの配布等により、ウイズセンター主催のキャリアアップ講座等の周知を行った。	企画政策課

(3) 女性の妊娠・出産に関する健康管理対策の促進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
女性が働きながら安心して子どもを産むことができる環境を整備する。	○母子手帳交付に合わせて、「母性健康管理指導事項連絡カード」を配布し、事業者へ妊娠や出産に関する健康管理の重要性について周知を図っている。	健康づくり課

(4) 多様な働き方の支援

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
女性に多いパートタイム労働者や、起業を希望する女性に対して情報を提共する。	○窓口等にウイズセンター主催の各種セミナーのチラシを配布し、情報提供を行った。	企画政策課

重点目標-2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

（１）多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実

施策の内容	24年度実績（課題）	担当課
保育サービスの整備および在宅の乳幼児も含めた子育て支援策を検討実施する。	<p>○無認可保育園等への助成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無認可保育園（8か所）へ20,600千円 ・健診助成176千円 ・幼児クラブ（9か所）へ851千円 ・放課後児童クラブ（7か所）へ18,563千円 <p>○一時保育、延長保育、休日保育等の多様な需要に応える保育サービスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育年間利用登録者数66人 ・延長保育年間利用登録者数88人 ・休日保育年間利用登録者数19人 <p>○子育て支援センターで育児相談、出前保育を実施した。また、市内6か所で子育て広場を開設している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターおよび子育て広場年間利用延べ人数16,998人 <p>○子育て支援センターでの支援活動と保育</p> <p>子どもと保護者向けのお楽しみ会や保健師が毎月参加し健康に関する指導、発達相談などの子育て支援、来所、電話による育児相談を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター 年間利用延べ人数 5,580人 開設日245日 ・開催イベント等 おたのしみ会 年間32回開催 参加延べ人数 1045人 保健師・英語の先生を招いた会 年間13回開催 参加延べ人数 342人 	こども課

（２）ひとり親家庭等の自立支援

施策の内容	24年度実績（課題）	担当課
ひとり親家庭等の自立を支援する。	<p>○各制度（児童扶養手当、医療、就学貸付等）の紹介や情報提供することにより、自立支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度新規登録 20件 <p>○母子自立支援員による窓口および電話相談を行い、各機関との連携を図りながら支援を実施した。</p> <p>○新規ひとり親家庭へ「新しい生活を始めるためのガイドブック」を配布し、各制度の紹介や情報提供を行った。</p>	こども課

(3) 仕事と育児・介護の両立のための雇用環境の整備

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
育児・介護休業法の定着促進と、仕事と育児や家族の介護を両立させるための環境を整備する。	<p>○産前・産後休暇を取得した職員は全員育児休業を取得している。また、短期の介護休暇、子の看護休暇についても適宜取得している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得者 13名(男0名、女13名) ・介護休暇取得者 0名 ・短期介護休暇取得者 5名(男4名、女1名) ・子の看護休暇 32名(男15名、女17名) 	総務課
	<p>○関係各課と連携を図りながら、各種制度の紹介や情報提供を行い、仕事と家庭の両立のための支援を実施した。</p> <p>○「子育てガイドブック」を作成し、配付した。</p> <p>○新見市ファミリーサポートセンターを開設し、公的な保育施設では補完できないサービスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員 42人 ・依頼会員 18人 ・述べ利用件数 7件 	こども課
	<p>○定例校園長会及び教頭研修会にて周知・指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月10日 4月定例校園長会 ・平成25年2月19日 2月定例校園長会 	学校教育課

(4) 介護支援体制の充実・整備

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
介護保険、介護サービス等の在宅福祉施策や介護予防サービスを充実させる。	<p>○身体障がい・知的障がい・精神障がいにかかわらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるように審議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会対象者数 75名 ・審議会開催数 15回 <p>○寝たきりや認知症高齢者を在宅で介護している介護者へ介護手当(月額1万円)の支給や介護用品の給付による経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護手当給付 受給者460人 22,500千円 ・介護用品給付 延べ57人 2,233千円 <p>○新見市障害者地域活動支援センターに障害者自立支援員5名と臨床心理相談員1名を配置し、相談業務を行った。また地域住民とリクリエーションを行い、交流の場を提供した。</p>	福祉課

重点目標-3 家族経営的な職業における男女共同参画の確立

(1) 農林業および自営の商工業者における男女共同参画の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
<p>家族経営協定の普及を図り、家族経営的な職業に従事する女性が各種委員会の委員や、団体等の役員に参画できるよう支援し、また、権利が確保されるよう施策を推進する。</p>	<p>○認定農業者を対象に、研修会や家族経営協定推進パンフレットの配布を行った。 ・家族経営協定締結数 31戸</p> <p>○認定農業者ニュース(年2回発行)での啓発を実施した。 (新見市担い手育成総合支援協議会、新見農業普及指導センター)</p> <p>○「新見 農と地域を考える集い」を開催した。</p>	<p>農林課</p>

基本目標Ⅳ 男女の人権が尊重される社会づくり

重点目標-1 メディアにおける人権の尊重

(1) メディア・リテラシーへの取り組み

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
メディア・リテラシーについての広報活動や講座など学習機会を提供する。	○新見市のホームページに男女共同参画コーナーを設け「新見市男女共同参画まちづくり条例」、「男女共同参画プラン」、「新見市男女共同参画情報紙りぼん」等を掲載して啓発に努めている。	企画政策課

(2) 行政刊行物等の表現における男女平等の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
市が作成する刊行物等については、男女共同参画社会の視点に立って作成する。	○庁内、広報公聴委員へ、性にとらわれない表現の周知徹底を図っている。	企画政策課

(3) 高度情報通信社会における新たな課題への対応

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
インターネット等について、人権に配慮した正しい利用をするよう啓発を行う。	○情報セキュリティポリシーに基づき、職員に対する研修等により啓発を行った。	情報管理課

重点目標-2 女性に対するあらゆる暴力の根絶

(1) 女性に対する暴力の発生を防ぐための基礎づくり

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
<p>セクシャル・ハラスメント防止にむけた、広報活動及び防止対策等の環境整備を推進する。</p>	<p>○服務規律の中で、セクシャル・ハラスメント防止についても徹底している。また、相談体制についても確立している。</p> <p>○職員向けに公務員倫理講座を実施し、セクシャル・ハラスメント等の職場での不祥事などを防止する職場づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年11月13日 受講者167名 <p>○管理職および教諭が県教育委員会主催の人権教育研修へ参加した。</p> <p>○教職員にセクシャル・ハラスメントに対する体制作り、問題が発生した場合の対応などを指示、連絡した。</p> <p>○校園長会等において教職員の服務規律の徹底を呼びかけ、各学校園において教職員に周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年11月19日 11月定例校園長会 ・平成25年 1月11日 1月定例校園長会 	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p>

(2) あらゆる暴力への対策

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
DV防止法等関係法令の周知、相談しやすい環境整備、相談機関の連携を図る。	<p>○男女雇用機会均等法、DV防止法など関係法令について新見市ホームページに掲載し周知を図っている。</p> <p>○相談機関として、男女共同参画プラザを設置し、相談員を配置している。市報にいみ等活用しながら機会ある毎に周知を行っているが、より一層の周知が必要である。</p> <p>・開設日時 水曜～金曜 10～18時(祝日、年末年始を除く)</p> <p>○必要に応じて福祉関係部署、警察署、女性相談所等と連携している。</p> <p>○母子自立支援員による平日の相談業務の実施している。</p> <p>○相談機関の連携を図り、パンフレット等により相談窓口の周知を実施している。</p> <p>○社会福祉事務所、家庭児童相談員、母子自立支援員が連携し、自立を支援した。</p> <p>・自立を支援した人数 3人</p> <p>○高齢者虐待防止に関する情報交換、関係機関との連携を図り、広報・啓発活動に努めた。</p> <p>○虐待防止アドバイザーの助言・指導を受けて早期の支援方針を決定し的確に対応を行った。</p>	<p>企画政策課</p> <p>こども課</p> <p>介護保険課(地域包括支援センター)</p>

重点目標-3 生涯を通じた健康等の支援

(1) 性と生殖の健康・権利に関する意識の浸透

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
性と生殖に関する健康/権利の概念浸透のための、広報活動や学習機会の提供、青少年に対するHIV/エイズ等の正しい知識の普及を図る。	○HIV/エイズ教育は全小・中学校において、薬物乱用防止教育については全中学校において実施した。	学校教育課

(2) 生涯を通じた健康増進対策の推進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課																											
<p>全ての市民が健康で、明るく、いきいきと安心して暮らせるよう、健康教育、健康相談、各種健(検)診等を実施し、正しい知識の普及と検診受診率の向上を図る。</p>	<p>○各市民センターを中心に集合総合検診(健康診査、結核・肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん等)を実施した。</p> <p>○市内の医療機関で個別総合検診(健康診査、結核・肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん等)を実施した。</p> <p>・各種検診受診者数と受診率(人：%)</p> <table border="0"> <tr> <td>特定検診</td> <td>2, 322人</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>2, 643人</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>健康診査</td> <td>1, 697人</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>4, 840人</td> <td>38.4%</td> </tr> <tr> <td>健康診査(若年)</td> <td>68人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>1, 505人</td> <td>30.2%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>5, 082人</td> <td>40.4%</td> </tr> </table> <p>○母子健康手帳の交付は本庁及び各市民センターなど保健師が配属されていないところでも行っているため、保健師が面接できていない妊婦は電話等により聞き取り等を行い妊娠中の不安への対応を行った。</p> <p>母子健康手帳交付件数 191件</p> <p>○妊婦・乳児の異常の早期発見のために受診無料券の交付を行った。</p> <p>・妊婦・乳児検診無料券の交付件数 209件</p> <p>○高齢初妊婦・若年妊婦等のハイリスク妊婦については、電話・訪問等により相談対応を行った。</p> <p>・相談対応件数 10件</p> <p>○乳がん・子宮がん検診を集団・個別検診で実施した。マンモグラフィ検診も集団・個別検診で実施した。</p> <p>・受診者数と受診率(人：%)</p> <table border="0"> <tr> <td>子宮がん</td> <td>1, 816人</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>2, 133人</td> <td>26.7%</td> </tr> </table> <p>○市民自ら生活習慣を見直し、食習慣の改善や運動習慣の定着等ができるように各種健診の充実並びに健康相談や健康教育健康教室等での指導が必要である。</p>	特定検診	2, 322人	38.6%	胃がん	2, 643人	21.0%	健康診査	1, 697人	22.8%	大腸がん	4, 840人	38.4%	健康診査(若年)	68人		前立腺がん	1, 505人	30.2%	肺がん	5, 082人	40.4%	子宮がん	1, 816人	21.3%	乳がん	2, 133人	26.7%	<p>健康づくり課</p>
特定検診	2, 322人	38.6%																											
胃がん	2, 643人	21.0%																											
健康診査	1, 697人	22.8%																											
大腸がん	4, 840人	38.4%																											
健康診査(若年)	68人																												
前立腺がん	1, 505人	30.2%																											
肺がん	5, 082人	40.4%																											
子宮がん	1, 816人	21.3%																											
乳がん	2, 133人	26.7%																											

(3) 高齢者・障害者等の健康と社会参加の促進

施策の内容	24年度実績(課題)	担当課
<p>老人クラブ活動支援、高齢者・障害者の自立支援サービスの整備・充実、バリアフリー、ユニバーサルデザインの啓発および普及を図る。</p>	<p>○新見市老人クラブ連合会および単位老人クラブへ健康づくり(グランドゴルフ大会等)を支援するための助成を実施した。 ・単位老人クラブ(95クラブ) 7,012人</p> <p>○高齢者の自立および社会参加を促進するため、住宅改修助成および生きがい活動支援通所事業を実施した。 ・住宅改修助成事業(39件) ・生きがい活動支援通所事業(自立デイ) 6施設 延べ1,643人</p> <p>○障害者週間に合わせ、平成24年12月4日にチラシ等を配布して啓発活動を行った。</p> <p>○平成25年1月19日に新見福祉フォーラムを開催し、障害に対する理解を深めた。</p> <p>○自立支援協議会幹事会、部会を随時開催した。</p>	<p>福祉課</p>